

会 議 録

1 会議名	平成22年度 第2回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成22年6月7日(月) 14時00分～16時50分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】太田正, 手塚敏子, 古橋悟一, 江連功, 小野久男, 柏木聖子, 神山光男, 北見和弘, 北見幸夫, 柴田征男, 鈴木幸男, 手塚道子, 横塚境, 和田春海, 小林和美, 櫻井清一, 佐藤きよ子, 藤井直和</p> <p>【事務局】上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】なし</p> <p>【記者】なし</p>
7 会議経過	<p>1 開 会</p> <p>2 答申書(素案)について</p> <p>3 地域のまちづくりに関する施策の提案について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>

1 開会	
第2回宇都宮市上河内自治会議開会	
2 答申書(素案)について	
会 長	会議次第2の「答申書(素案)について」, 事務局から説明を願う。
事 務 局	本答申書(素案)は, 第1回自治会議において諮問を受けた「合併市町村基本計画の執行状況」について, 委員の方々からのご意見に基づき, 作成したものであり, 内容を説明する。

1 計画的に整備が進んでいる事業

(1) 道路新設改良事業

(進捗状況)

道路新設改良事業については、4路線(市道10111号線、市道13125号線、市道13045号線・13047号線、市道13127号線)が計画されております。

計画されている4路線のうち現在2路線に着手され、平成21年度には市道10111号線の改良事業が終了し、市道13125号線は用地買収が進められるなど計画的に整備が進められております。

(意見)

道路整備にあたっては、子どもや高齢者など歩行者等の安全を十分に考慮したうえで計画的に整備を進めることが必要です。

また、道路を整備することにより、上河内地域の交流人口増加につながるなど、地域のまちづくりに大変重要な役割を果たすことから、今後も地域内の利便性を考え、必要な路線を重点的に整備することが望まれます。

(2) スマートIC恒久設置事業

(進捗状況)

スマートICへの接続道路については、平成22年3月に上り線(県道)下り線(市道)ともに工事が完了しており、ネクスコ東日本においてフルインター化に向けた準備を進めております。

(意見)

フルインター化に伴い、大型車両の通行も可能となり、スマートICの周辺道路においては、交通量の増加が見込まれることから、歩行者の安全を確保するうえで、歩道を設置するなどの安全対策が必要です。

さらに、宇都宮市の北の玄関口として広域的な交流が見込まれることから、開通後も企業誘致等、地域経済の活性化につながる計画的な基盤整備が望まれます。

(3) 上水道統合整備

(進捗状況)

上水道事業統合整備については、平成21年度に策定した「水道拡張事業計画」に基づき、平成23年度以降に旧上河内町の旧簡易水道2地区(東部地区、西部地区)にある独立した水道管を、災害等が発生した場合においても安定した給水ができるよう、東西連絡管の布設が予定されております。

また、松風台団地の給水区域編入については、地元自治会との協議を図りながら給水区域編入を進めていくことになっております。

(意見)

上河内地域における東西連絡管は、安定給水を図るとともに効果的な水道運営を推進するために、速やかに整備を進める必要があります。

また、松風台の給水区域編入については、自治会・開発業者と十分な協議を行ったうえで整備を進めることが望まれます。

(4) 公共下水道整備事業

(進捗状況)

公共下水道整備事業については、平成21年度に中里地区を中心とした汚水管布設が行われるなど、事業認可区域(238ha)に対する進捗率は58.5パーセントとなり、着実に整備が進められております。

(意見)

公共下水道は、地域の生活環境の向上や自然環境の保全のためにも大変重要であることから、今後も必要度の高い区域から順次計画的に整備することが望まれます。

なお、公共下水道が整備されるまでの間は、引き続き合併処理浄化槽設置の支援も必要です。

(5) 児童の健全育成環境の整備

(進捗状況)

児童の健全育成環境の整備については、平成20年度に上河内中央小学校区域及び上河内西小学校区域に「子どもの家」が設置され、平成21年度には、上河内東小学校区域の留守家庭児童会が上河内東小学校体育館内に移転されたことから、計画的に整備が進められております。

(意見)

上河内東小学校区域の留守家庭児童会については、平成21年度に上河内東小学校体育館内に移転され、安全性は確保されたが、今後、就学前の子どものために「子どもの家」へ移行することを前提に引き続き検討し、早急に移行できるよう整備を進めることが必要です。

また、安心・安全な「子どもの家」を運営するには、指導員の育成や保護者からの意見を聞くことも必要です。

(6) 中学校校舎整備事業

(進捗状況)

中学校校舎整備事業については、上河内中学校普通教室棟の耐震補強工事が平成13年度に実施されております。

また、特別教室棟については、平成18年度に耐震1次診断、平成21年度に耐震2次診断が行われ、平成27年度までに耐震補強工事を完了する予定となっております。

(意見)

中学校校舎の耐震化は、自然災害などから生徒の安全を確保する最優先事業であることから、計画どおり整備を進める必要があります。なお、耐震化をするまでの間は、日常的な点検整備が必要です。

(7) 中学校体育館整備事業

(進捗状況)

中学校体育館整備事業については、平成18年度に上河内中学校体育館の耐震1次診断、平成21年度に耐震2次診断が行われ、平成27年度までに耐震補強工事を完了する予定となっております。

また、武道場が未整備であるため、平成22年度に武道場の新設工事が予定されております。

(意見)

中学校体育館については、地域の避難場所として大切な役割を果たす施設であることから、日常的な点検整備が必要です。

また、平成22年度に予定しております武道場の工事をする際には、生徒の安全に十分注意したうえで整備を進める必要があります。

(8) 中里原土地区画整理事業

(進捗状況)

中里原土地区画整理事業については、平成21年度までに全体の72.3%の整備が終了し、平成22年度工事完了に向け着実に整備が進められております。

(意見)

平成22年度の工事完了後は、北部地域の魅力ある拠点の創造のため、都市計画マスタープランとの関連を十分考慮したうえで、完成後のまちづくりについても支援していく必要があります。

(9) 農道整備事業

(進捗状況)

農道整備事業は、毎年度、計画的に整備が進められており、平成19年度から平成21年度までに、延べ4,122.3mの舗装整備が行われ、順調に整備が進んでおります。

(意見)

農道整備事業については、上河内地域の主産業の農業をサポートするうえで大変重要な事業であるため、今後とも地域の声を反映し、引き続き計画的な整備が望まれる。

2 検討段階にある事業

(1) 生涯学習センター整備事業

(進捗状況)

生涯学習センター整備事業は、今年度、利用者が安全かつ快適に利用できるよう、老朽化の度合いなどを見極めながら、生涯学習とまちづくりの一体化も見据え、施設に必要な機能・規模等について関係部局等と連携を図りながら検討する予定であり、現在のところ整備には至っていません。

なお、上河内体育館については、旧上河内町が実施した耐震診断により、「一部に補強が必要である」という結果が出ていることから、耐震改修を行うことになっておりますが、改修の緊急性は薄いため、当分の間は必要最小限の修繕を行うことになっております。

(意見)

上河内生涯学習センターは、老朽化が進んでいるとともに、機能的に不十分であるため、早急に生涯学習センターのあり方など、整備方針を検討し、整備することが必要です。

また、整備に際しては、地域住民の意見を十分反映し、機能性が高く誰もが安全かつ快適に利用できる施設となることが望まれます。

(2) 農産物直売所等整備事業

(進捗状況)

農産物直売所等整備事業は、地域の状況を把握する必要があるとともに、事業主体・整備手法の検討が必要なことから、現在のところ整備には至っていません。

(意見)

農産物直売所の整備は、地産地消の推進や地域産業の活性化、さらには上河内地域の特色である「農」を活かした交流を推進するには重要であり、今後の地域のまちづくりを考慮し、検討する必要があります。

また、引き続き、地域住民の盛り上がりや地域を活性化しようとする仲間づくりなどに対する支援が必要です。

(3) 地域交流館整備事業

(進捗状況)

地域交流館整備事業は、地域交流館のサービス向上や運営の円滑化を図るため、交流拠点のあり方や施設内容の検討が進められているところですが、現在のところ整備には至っていません。

(意見)

地域交流館は、上河内地域の情報発信地として重要な役割をになっておりますが、今後はさらに、交流人口の増加につながるような都市間交流

拠点としての整備が必要です。

また、整備計画を策定するにあたっては、地域の意見を十分に反映することが望まれます。

3 終了した事業

(1) 林道整備事業

(進捗状況)

林道整備事業は、平成20年度に林道今里羽黒線の改良工事、平成21年度に林道矢白線の舗装工事及び高速道路高架橋3橋（天ヶ沢橋・前久保橋・山口橋）の工事が終了し、計画どおり整備が終了しました。

(意見)

今後は、林業振興や自然環境保全の観点から、林道パトロールや現地調査を継続的に実施し、計画的な維持管理が必要です。

続いて前回会議内での質問に対して回答する。

・合併時に話題になったと思われる地域内小学校のグラウンドを芝生化に関するその後の経過へのご質問は、現在の市の考え方として、グラウンドの芝生化による効果は認められるものの、草刈り・水撒き等の芝生化後の維持管理の問題や学校開放によるグラウンドの使用頻度が高く、芝生の養生が図れないため実現は難しいと考えている。

・上河内中学校体育館の整備に関し、市の整備計画の考え方に対するご質問は、現在、宇都宮市では昭和46年～47年を目安に建設され、40年の耐用年数を迎える鉄骨造りの施設を対象に改築を進めている。

上河内中学校体育館は、昭和44年に鉄筋コンクリートで建設された施設であり、60年の耐用年数を有するため、現時点では耐震補強で対応していく考えである。

・校舎のベランダにおいて、手すりが崩落し、負傷者が出たことを報道で知ったが、これらの報道に対する市の対応についてのご質問は、事故の報道の後、市内全小・中学校施設の点検・調査を実施した。

その結果、上河内中学校校舎のベランダの手すりが事故の発生した校舎と同じ構造であることが判明したため、現在は使用禁止の措置を講じている。

	<p>・第2次都市計画マスタープランに記されている地域拠点の意味についてのご質問は、当プランについては、施策の方向性を全市的な視点に基づいて作成されたものである。</p> <p>当プランの具体的な実現にあたっては、個別に検討を進めていくことになる。</p> <p>以上で、答申書（素案）及び前回会議内での質問に対する説明を終了する。</p>
会 長	ただいまの説明について、各委員からの意見を求める。
副 会 長	<p>都市計画マスタープランは、市の広報紙・6月号にも掲載されているが、地域への理解浸透が十分とは思えない。</p> <p>都市計画マスタープランにおいて、上河内地域を含む北東部に関する記述がある以上は、自治会議として説明・報告を受けることが必要なのではないか。</p>
事 務 局	担当課と対応について、調整させていただく。
副 会 長	地域のまちづくりを進めるに際しては、都市計画マスタープランの内容を把握した上で議論すべきである。まちづくりなどのワークショップに参加経験がない方にも理解が図れるように事務局の対応をお願いしたい。
会 長	都市計画マスタープランに対する地域の理解・協力を得るためにも、非常に重要である。事務局には、会長・副会長連名による要望として、対応を図ってほしい。
会 長	他にご意見はないか。
全 委 員	(意見・質問なし)
会 長	<p>ここまでの説明・内容について、ご意見・ご質問が生じた際には、6月15日（火）までに事務局へ連絡をいただきたい。</p> <p>そのうえで、答申書（素案）についての協議・取りまとめを次回第3回自治会議で進めていくので、ご承知いただきたい。</p>
3 地域のまちづくりに関する施策の提案について	
会 長	会議次第の3「地域のまちづくりに関する施策の提案について」事務局から説明を願う。
事 務 局	<p>前回の会議において、まちづくりの提案については、自治会議内でのグループ協議を経たうえで定めていくことに各委員の了承をいただいたところである。</p> <p>本日は、各委員が4つのグループに分かれ、テーマに沿った課題の抽出と目標設定の作業を行っていただきたい。</p> <p>なお、事務局で次の資料を参考資料として用意したので、説明をさせていただきます。</p>

	<p>資料2につきましては、地域のまちづくりに関する施策の提案のイメージについて、前回の提案の柱に従い、施策の関連性を取りまとめ、図表化したものである。</p> <p>資料3について、地域のまちづくりに関する施策の提案作成シートとして、『産業・経済』をテーマに今後の提案の進め方及び作業予定を示したものである。</p> <p>資料4につきましては、グループ・全体協議の進め方として、本日予定されている各グループ内の作業内容と時間配分を示したものです。</p> <p>資料5につきましては、上河内地域の人口動態、上河内地域の産業を図表化したものである。</p> <p>別紙宇都宮市上河内地域交流館に関する資料は、『宇都宮市の農林業』より抜粋したものである。</p> <p>以上で「地域のまちづくりに関する施策の提案について」の資料説明を終了する。</p>
<p>会 長</p>	<p>先ほどの事務局の説明に補足をさせていただく。</p> <p>前回の会議において、まちづくりの提案の具体的な進め方に関し、一定の方向性を示していただいたところである。</p> <p>自治会議におけるこれまでのまちづくりの提案を踏まえつつ、本日の各グループでの協議を関連させていくことを、イメージとして表現したものが資料2である。</p> <p>また、テーマの設定については、雇用の問題が深刻化し、生活には欠かせないことから、火急的問題として、『産業・経済』について取り組んでいきたい。</p> <p>地域別のデータについては、合併の実施によって宇都宮市となった中で、できる限りの上河内のデータを用意していただいた。</p> <p>各グループで協議する資料としては、質・量ともに不十分であるが、各委員の生活実感を判断に加えた上で対応していただきたい。</p> <p>次回以降の会議は、資料3に記された作業プロセスに沿って作業を進めていくが、本日各グループ内においては、『産業・経済』をテーマに『何が必要なのか、10年後を見越した形』での課題の抽出や目標の設定を行っていただきたい。</p> <p>これまでの説明について、各委員から意見を求める。</p>
<p>委 員</p>	<p>各テーマに沿った課題の抽出作業を行うにあたり、今回用意された資料のみで地域の現状を把握することは難しい。</p> <p>一般論のみの議論ではなく、実のある議論を行うためにも、的確な現状把握につながる様々な情報やデータを各委員と共有化していくことが必要なのではないか。</p>

会 長	<p>本日用意した資料だけでは、対応が難しいというご指摘はごもっともであるが、今回の作業における地域の現状把握については、各委員の生活実感を加味することで対応を図っていただきたい。</p> <p>今後の会議には、可能な限り必要な資料・データを用意し各委員へ提供できるようにしていく。</p>
委 員	<p>事務局から配布された資料4の「グループ・全体協議の進め方」どおり、本日予定されている課題抽出等の一連の作業に臨むのは現状において難しいと思う。</p> <p>課題への認識について、各委員とイメージを共有する段階までで今回の作業を留めてみてはいかがか。</p>
委 員	<p>今回の会議内で予定されている作業に関し、具体的な作業プロセスや協議に必要な情報を提示してもらうなどのサポートが必要である。</p> <p>事務局側に対応をお願いできないだろうか。</p>
会 長	各委員の意見に対し、事務局から説明願う。
事 務 局	各グループに事務局が1名ずつサポートに付いて、今回の対応にあたらせていただく。
会 長	事務局から作業の進め方やグループ協議に必要な情報提供といったサポートをしていただくことで、作業を開始してはいかがだろうか。
委 員	<p>各作業の時間配分を確認させていただきたい。</p> <p>資料4による作業時間配分に従い、各作業を行うと大幅な会議時間の延長が予想される。</p> <p>協議から発表に至るまでの各作業において、時間配分をどのくらいと認識したらよろしいか。</p>
(暫 時 協 議)	
会 長	<p>当初の予定に従い作業を進めれば、終了予定時刻が17時30分となるが、会議の長時間化を避けるため、時間を短縮して16時10分で本会議を終了する。</p> <p>タイムスケジュールの修正箇所について、改めて事務局から説明を願う。</p>
事 務 局	タイムスケジュールは、課題の抽出に30分、課題の分類及び課題の設定に10分、協議の進め方に20分とさせていただきます。
会 長	それでは、各グループに分かれ、作業を開始していただきたい。
4つのグループに分かれて、作業を実施	
会 長	<p>これより全体協議に入らせていただく。</p> <p>各グループで課題に対する目標が決定したので、Aグループから順番で発表していただきたい。</p>
委 員	<p>Aグループの検討内容を発表する。</p> <p>・今の農業は、農業従事者の減少、耕作放棄地の増加、担い手が高齢</p>

などから、将来の農業に不安がある。解消する1つの方法として民間企業へ経営を任せる方法もあるため、目標を「地域農業の拡大化」とした。

- ・ 今後は、高齢者の買い物の足の確保などが難しくなり、買い物難民が増加するのではないかと考えられる。大規模店舗などの進出により身近にあった小規模店舗が撤退していった。これからの商業施設は、高齢者にも配慮した店舗が必要なことから、目標を「商業施設の充実について」とした。
- ・ 当地域においてはおいしい地下水がある。ペットボトルに詰めて売り出す生産体制ができれば、知名度がでてくることから、目標を「資源の活用」とした。
- ・ 交流人口の中心は梵天の湯であるが、最近来場者が減ってきているのではないかと心配している。その対応策としては施設に宿泊棟や農業を体験できるような施設を充実させ、PRするべきと考えることから「観光産業の振興」とした。
- ・ 地域には働く場所が少ない。スマートICのフルインター化により市が企業を誘致してもらえれば、雇用も生まれるため、目標を「企業の誘致」とした。

Bグループの検討内容を発表する。

- ・ 農業者の減少、農家の後継者がいないなどから、農業では生活できないことが1つとして言える。現状では規模の小さい兼業農家が大半をしめており、これらを解消するためには自立できるような政策を考える必要があり、目標を「自立できる農業」とした。
- ・ 地域には働く場所が少なく、地域外で働いているのが現状だ。また、同様に女性の働く場所も少ないことから、目標を「雇用の創生」とした。地域は農村地域であり買物などには車が必要である。また、交通の便が悪い現状があり、動きやすい体制をつくるために目標を「交通網の整備を進める」とした。
- ・ 入院となると地域外に行かなければならない。また、生活必需品は揃えることはできるが、楽しめる娯楽施設がないことから、目標を「安全・安心な生活と楽しめる場をつくる」とした。

Cグループの検討内容を発表する。

- ・ 地域には山田川や鬼怒川があり、宇都宮市の上流に位置する。地域では下流に位置する人たちのための環境に配慮しなければならないことから、目標を「水と緑の保全」とした。
- ・ 関白獅子舞などは地域の伝統があるが、保存していくにはお金や人が必要で苦労している。地域にある何百年もの伝統文化の継承と継続を考えるため、目標を「伝統文化の維持」とした。

	<p>・春のスポーツ大会ではメンバーの不足から参加しない地域もあったが、参加をすれば楽しんでもらえるのが現状である。ふれあいの場をつくり、元気を出してもらうことが必要なことから、目標を「地域の活性化」とした。</p> <p>・地域には工業団地もないことから、企業が点在している。環境の面から将来は一箇所にまとめるなど都市計画での区分が必要なことや高齢者のための交通機関をこれからどのように考えるかなどから、目標を「暮らしやすいまちづくり」とした。</p> <p>Dグループの検討内容を発表する。</p> <p>・女性や高齢者でもできる農業経営を支援する体制が必要なことから、目標を「農業の担い手の育成」とした。</p> <p>農業の持続性を高めるためには、耕作放棄地や高齢化の背景としてある経営の仕組みを考えるべきであり、目標を「農業の持続性を高める」とした。</p> <p>・自由に作って自由に出す、年間を通じて計画性がなく出されることから安定した経営が難しいのが現状と思われ、目標を「計画的生産と直売所の充実」とした。</p> <p>・地域にかなり古い歴史のある古道がある。今歩くことがブームになっている。お金をかけなくとも整備ができ、地域に人が集まってくるきっかけになればよいと考えたことから、目標を「古地図の作成」とした。</p>
会 長	<p>発表ありがとうございました。</p> <p>これから各グループから提案された目標を投票により3つに絞りたいと思う。自分のグループに関係なく適正な審判で投票してほしい。</p>
投 票 及 び 集 計	
会 長	<p>投票の結果、上位が同数であるため、「地域農業拡大化」，「雇用を創生する」，「交通網の整備を進める」，「計画的生産と直売所を充実させる」の4つを目標とする。</p> <p>この目標で進めることでよろしいか。</p>
委 員	異議なし
会 長	<p>それでは、4つの目標とさせていただく。次回以降の会議において、これらの目標を達成するための方策と実行プランについて、協議していく。</p>
4 その他	
会 長	次第4の「その他」について、各委員から意見を求める。
委 員	(意見・質問なし)
会 長	事務局から何か周知事項はあるか。
事 務 局	次回の第3回上河内自治会議は、7月下旬を予定している。

	詳細が定まり次第，通知させていただく。
5 閉 会	
会 長	以上で第 2 回上河内自治会議を終了する。